

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リカバリー佐倉			
○保護者評価実施期間	令和7年 6月 10日 ~ 令和7年 6月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24件	(回答者数)	19件
○従業者評価実施期間	令和7年 7月 1日 ~ 令和7年 7月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6件	(回答者数)	6件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 7月 16日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・佐倉に来ることを楽しみにしている子が多くみられる	・子供達にやりたい事を聞き取り組むことが出来ている	・新しい活動、行った事がない事にもチャレンジしていく たい
2	・食育活動が人気で保護者の方からの声で家では食べないのでリカバリーさんで食べてくれる所以嬉しいとの声がある ・事業所で野菜を育て収穫し作って食べるまでを行っている	・苦手な食べ物でも1口はチャレンジするよう声掛けしている、食べれた時は褒める ・学校で児童達が学んだ事を説明する機会を設けている	・苦手な食べ物がなくなるように料理で工夫していく ・育てたことない野菜にもチャレンジしたい
3	・支援級の子と特別支援学校の子が半々でいるのでいろんな子との関わりができる	・活動や遊びを行うときは支援級、特別支援学校の子で別々に分けることはせず、支援級の子、特別支援学校の子を混ぜて活動、遊びを行い、レベル調整して行っている	・誰とでも遊べるよう職員が仲立ちし関わりを持てるように促す

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援室と事務所が一緒で一部屋しかないため、不穏時や体調不良者が出てきたときにソーニングがうまく行えない ・支援室に児童の人数が多く賑やかなとき	・不穏時他に部屋がないため、落ち着いている子も気になってしまい、集中ができない ・低学年の利用者が増えたことで高学年の利用者から集中できないとの声がある	・不穏時、他の子が落ち着いていられるよう声掛けや遊びで気を紛らわすようにしていく ・テント(室内に) や廊下にテーブル、イスを設置し集中して勉強や工作ができるよう工夫している
2	・災害時の対応	・毎月避難訓練を行っているが、災害が起きたときに保護者の方との引き渡しがスムーズに行えるか不安	・避難訓練は引き続き行って行き、災害が起きた際の連絡方法、引き渡し場所をおたより等で伝えていく
3			